

1. 研究会名

IS技術者のためのPsytech2020研究会

2. 研究テーマ

メンタルプロセス・マネジメント

3. 主査（氏名、所属）

三村 和子 臨床心理士・公認心理師・カウンセラー

4. 幹事（氏名、所属）

伊藤重隆、元みずほ情報総研
魚田勝臣、専修大学名誉教授、
芳賀正憲、コスモロジック

5. 研究テーマ設置の趣旨

IS技術者のやりがい感や自己効力感の低下についての問題が指摘され、ポジティブな側面での心理的支援への関心やニーズが高まっている。本研究会では、IS技術者を対象とした心理的支援(psytech*1)について、プロジェクトマネジメントを構成するプロセスの1つである「メンタルプロセス・マネジメント」(*2)のための情報システムモデルを検討する。

過去（2017年度から2019年度）に行ったIS技術者のためのPsytech研究会の成果である「IS技術者のためのパターンランゲージ」を用いた、メンタルプロセスのPDCAをプロジェクトで実践することを想定した研究を推進する。これにより、ポジティブメンタルヘルスの観点からIS技術者のwell-being（精神的健康）を実現することを目指す。

*1)psytech（サイテック）とは：IT技術を使った新たな心理的支援。心理学を意味する“psychology”と、技術を意味する“technology”を組み合わせた造語

*2)メンタル・プロセス・マネジメント：「新情報システム学序説 情報システム学会新情報システム学体系調査研究委員会編」において、プロジェクトマネジメントの機能、役割を構成するプロセスとして、従来の「プロジェクトマネジメント・プロセス」および「ソフトウェア・エンジニアリング・プロセス」に加えて、「プロジェクト・メンタル・プロセス」が重要であると示されている。

6. 主たる活動場所

検討中

7. 活動計画（概要）

1年目：1）哲学、心理学の専門家を招いた講演会
2）パターンランゲージの作成、実証研究
2年目：パターンランゲージの出版に向けての検討

8. メンバ構成（氏名、所属など）

五十井 薫、一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
三村 義利、株式会社パソナグループ